For KEYENCE 2009

ログギングソフト「それゆけ!鈴木係長」

特定ビットを監視し、配下のデバイス値の読み取りを行い ビットの書き込み、テキスト保存、CSV保存などの ログの保存を目的とされたカスタマイズソフトです。

For KEYENCE 2009 取扱説明書

この度は **KEYENCE** 製 PLC シリアルポート対応 特定デバイス読取りソフトウェア For KEYENCE 2009 「それゆけ!鈴木係長」

をお買い上げありがとうございます。

初期設定										
通信設定 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 3
計測記録名称設定 ·	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 4
自動保存設定										
プログラム開始・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 5
ログ取り										
現在のログファイル・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 6
CSV ファイル										
表計算ソフトの注意点										
ログの行番号の指定・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 7
プログラムの終了										
メンテナンス・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 8
動作環境 •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• 9
エラー集・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	10

%/	for KEYENCE 200	9
File	e	
	ログ起動(A)	
	通信設定(5) 項目設定(M)	
	パーミョン情報の	
	パーション情報(閉じる(C)	*)
		ログ起動(A) : ロギング画面
		通信設定(S) :接続情報の設定
		項目設定(M):計測項目名称の記入
		バージョン情報(V)
		閉じる(C)

目次

初期設定

通信設定 File → 「Com Set(S)」

□ 設定保存(<u>H</u>)	な。 通信テスト(<u>T</u>)			× <u>C</u> lose
通信方法の遵択 C COM(Serial) C TCF/IP(Ether)	授続設定 Com Port <u>COM3</u> ▼ Com Speed 18200 ▼ bps バリティ E ▼ 米なし = N ,奇数 = O , 偶数 = E データ長 8 ビット ストップビット 長 1	- CSV書出し設定 - - - - - - - - - - - - -	現在年月日,時間 <u>年</u> 月 2008 10 26 <u>時</u> 分 19 15 48	
	ログのタイミング(動作)設定 ・	 最大行 20000 最大行に違いた時 ア プログラム停止 ※最大行 30,000 項目列 35 ※データ項目最大 30 	※ 時何 [4] 324時間	時間設定

Com Port : 通信するシリアル番号をお選びください。例)COM2

※マイコンピューターのプロパティからお調べください。

Com Speed : 転送速度 (PLC 設定による) 例)19200bps

パリティ : パリティの設定 (PLC 設定による)例)偶数=E

データ長 : データ長 (PLC 設定による) 例)8 ビット

ストップビット長 : (PLC 設定による)

ログのタイミング:毎秒、毎分、毎時、時刻にて対応 例)毎秒1秒

(今回の設定はありません)

最大行の設定:カスタマイズにおいて 20000 に設定

最大行に達した場合停止いたします。

再度スタート待ちとなります。

計測記録項目:カスタマイズにおいて 30に設定

設定保存:アプリケーションパスにおける PC 内に保存

通信テスト:通信テスト(ポートを開く)

テストを行った際は「Com out」によって閉じてください。

エラー表示は下部に赤い文字にて表示されます。(または無表示)

通信テストが成功した場合は「正常です。通信速度の変更ができます。」となります。 Com out: Port を閉じる

	- KV-3000 Com Speed 変更 速度変更 bps CC
エラーコード:8002(2重に通信ポートを開きました、切断してください。)	メッセージ: 正常です。通信速度の変更ができます。

測定記録名称設定

計測記録項目の入力 File → 「Measure(M)」

「Name Set」ボタンにより保存されます。

計測項目:カスタマイズにおいて 30項目設定

⊘ Name Set		
計測用目名称1/Measure1Name	計測項目名称11/Measure11 Name	計測項目名称21/Measure21Na
第1上比一一温度	第6上七一个温度	酸素濃度
計測項目名称2/Measure2Name	計測項目名称12/Measure12Name	計測項目名称22/Measure22Na
第1 下t>-温度	第6下1一个一温度	
計測項目名称3/Measure3Name	計測項目名称13/Measure13Name	計測項目名将23/Measure23Na
第2上比一个温度	第7上比一个温度	
計測項目名称4/Measure4Name	計測項目名称14/Measure14Name	計測項目名将24/Measure24Na
第2下t->-温度	第7下t->-温度	
計測項目名称5/Measure5Name	計測項目名称15/Measure15Name	計測項目名将25/Measure25Na
第3上t->-温度	第8上t-为-温度	
計測項目名称6/Measure6Name	計測項目名称16/Measure16Name	計測項目名称26/Measure26Na
第3下t-外温度	第8下t-7-温度	
計測項目名称7/Measure7Name	計測項目名称17/Measure17Name	計測項目名称27/Measure27Na
第4上1-7-温度	第9上t-7-温度	
計測項目名称8/Measure8Name	計測項目名称18/Measure18Name	計測項目名称28/Measure28Na
第4 下t-9-温度	第9 Ft-5-温度	
計測項目名称9/Measure9Name	計測項目名称19/Measure19Name	計測項目名称29/Measure29Na
第5上t-9-温度	クーリング・ ソーン温度	
計測項目名称10/Measure10Name	計測項目名称20/Mossure20Name	計測項目名称30/Measure30Na
第5下t-少-温度	(いいーケー 速度	

自動保存設定



Default Time:計測当日の23時59分59秒にテキスト log ファイルを Excel 閲覧可能な CSV ファイルに自動変換保存

テキストファイルは削除されます。

User Time: ユーザーの設定した時間にすることも可能です。

User Time の右横のテキストボックスに「時:分:秒」形式で入力して、 チェックボックスをクイックしてください。 プログラム開始

File \rightarrow [Action(A)]

I File							
Connect (N)	AutoStart	X Stop Excel	eset	Information		Default No(1) Save No(48) User No	X <u>C</u> lose
DATE AT	F EXT File IE TIME Name	第1上 第1下 第2上 第2上 第2上 第2上 第2上 1-9-温度 1-9-温度	第3上 第3上 第3下 で 7 manas で 7 manas	第4上 第4下 にか温度 にか温度	第5下 第6上 第6下 たつ-温度 たう温度 たう-温度	第7上 第7下 第8上 度 1-9-温度 1-9-温度 1-9-温度	第8下 t-9-温度
			Reset	ボタン:操	作しますとう	データカウン	
			1,12,1	ふさしもの	キニルへー	ーンドニナーン	
			- rai	からとなり	、衣尓は全く	く相えようか	
			= ログは	残っておりる	ます。		
↓							+
				2008/	10/26 18:58:16 © Defi C Use	aul Time r Time 20:00:00 Sa	ve

Connect:接続ボタンによりポートの接続を行います。



(エラー時は黄色ランプ点灯になります。)

AutoStart: 自動ログ取りボタン

for K	I for KEYENCE 2009 - [Loging]								
📑 File									
Ca	미) onnect (<u>N</u>)	Aut	oStart		X Stop	Exc	cel Show	File	Dir
No.	DATE	ENT TIME	EXT TIME	Files Name	25-5-温度	第1下 と-ター温度	第2上 比-9-温度	第2下 と-ター温度	第 [
00003	2008/10/21	21:10:50	21:11:06	File_0	00011	00012	00021	00022	0
00002	2008/10/21	21:10:50	21:11:06	File_0	00011	00012	00021	00022	0
00001	2008/10/21	21:10:49	21:11:06	File_0	00011	00012	00021	00022	0
	r		·					·	

stop:一時停止ボタン



本日付の log ファイルを選択します。

(選択画面は前回開いたフォルダになります。)

\sim	11-12	挿入 ハーン	(D1)/OF	<u>第</u> 人工/	τ−α 1x	ाम्रा उद्यान	用用								
Ē	よ 切り耳 □> −ピー	עט	MS P⊒3	ンック	• 11 • 2	A^ A] =	= = >	• 寄折)返して全体を	表示する	標準	•	5	🧾 標	準
貼り付け	✓ 書式	のコピー/貼り付け	BI	<u>u</u> •] 🖽 •]	ð - A -	∡ . ■		律 国セル	を結合して中	央揃え・	∰ • % ,	•.0 .00 0.€ 00.	条件付き テー: 書式 * 書式	ブルとして 悪	い
	クリップボ	-14 15		フォント		5		配置		G.	数値	Gi			スタイル
A1 • 🕞 🏂 1167															
	А	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	K	L	М	N	0
1	1167	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
2	1168	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
3	1169	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
4	1170	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
5	1171	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
6	1172	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
7	1173	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
8	1174	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File 2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
9	1175	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
10	1176	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
11	1177	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
12	1178	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
13	1179	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
14	1180	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
15	1181	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
16	1182	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
17	1183	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
18	1184	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
19	1185	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
20	1186	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
21	1187	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
22	1188	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
23	1189	2008/10/17	14:29:00	14:29:09	File_2	1	7 18	33	34	49	50	65	66	81	82
24	1100	2000/10/17	1/1-20-00	1.4-20-00	Ella 2	1	7 10	00	24	/10	50	6E	88	01	02

Excel 形式の CSV ファイルが表示されます。

<u>CSV</u>の保存されるフォルダはアプリケーションインストールフォルダです。

<u>デフォルトで C:¥program Files¥for KEYENCE 2009¥となります。</u>

別名で保存や、印刷などは Microsoft Office やその他の表計算アプリケーションソフトの取扱説明書に従って行い下さい。

表計算ソフトの注意点

※ロギングソフトの監視中に表計算を行いますとリソースを消耗いたしますので十分なメモリがないパソ コンでは動作しない場合がございます。パソコンのスペックをお確かめください。

推奨 CPU・メモリ・などは動作環境をご覧ください。・・・・・・・(P9)

127	121	12.1		X
	\frown		-	ъ×
 ○ Defa ○ Save 	ault No(3 e No(15	1)	X	
0098 	第7下 と-ター温度	第8上 比-9-温度	<u></u> 第8下 上-外-温度	

ログの行番号の指定 Default No(1): 通常 1 から連番管理 Save No():前回の記録後 左の図ではカッコ内が 15 なので 15 からとなります。 User No:右の枠に数値を入力後、チェックしてください。 希望の数値から始まります。

※何らかの原因でプログラムが終了した場合、Default No(1)になってしまいます。必ずご確認ください。

プログラムの終了

「OK」で当日の日付(例えば 2008 年 10 月 28 日ならば)2008_10_28.csv の CSV に保存されます。 「キャンセル」されても log ファイルは削除されません。

自動保存設定により当日分の log ファイルは設定時間に CSV 変換されます。(・・・・・P4) log ファイルが存在しないときはメッセージを発生いたします。



メンテナンス

フォームの余白をダブルクイックでメンテナンスランプが見られます。 各部エラーの参考にしてください。(エラー集・・・・・・・・・・・P10) 左より

表示	状態					
0) Open	COM ポートの開閉 .	緑 : 正常(開) 黄 : 異常(閉)				
1) CC	スタンバイ	緑:通信開始可能				
2) Acc	監視用アクセス	緑:監視 黄:監視無 赤:異常				
3) 0	データ無フラグの確認	緑:0				
4) 1	データ有フラグの確認	禄:1				
5) Data	データ読み出し結果	緑:正常				
6) A	配列	緑:正常				
7) De	データ有フラグの0書き込み	緑:正常				
8) OK	0書き込みの完了 .	緑:完了				
9) Time	データ読出し用アクセス	緑:通過中				
10) 空白	-					
11) 空白	-					
12) Life	生存確認	緑:正常				
13) Loop	Loop 外	緑:通過中				
14) Loop1	Loop 内	緑:通過中				
15) カウンター	Loop内 15,000 カウンターでL	oop 自動脱出				



動作環境

推奨 OS

Microsoft Windows XP Home Edition Service Pack 3 Microsoft Windows XP Professional Service Pack 3 Microsoft Windows Vista premium Service Pack1 Microsoft Windows Vista Ultimate Service Pack1 (最新モデルでのご使用を推奨いたします。)

推奨メモリ

1GB 以上

推奨 CPU

Core Duo CPU Pentiam4 など 処理クロック数の高いものを推奨いたします。(2.5GHz)

表計算ソフト

Microsoft office 2000 以上

ロギング間隔は一秒以上です。それ以下の設定を行いますと通信エラーを生じる可能性があります。 膨大な情報量を扱う場合は各パソコンメーカーへお問い合わせください。 以上の動作環境以外ではログの数値飛び(歯抜け)が生じる場合があります。

ELECOM などの USB→RS232C 変換アダプタは通信エラーを生じます。 シリアルポートの追加が必須になります。 エラー集

通信中の不具合によりエラーを発生いたします。

- *中断信号を受信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「通信異常!!」 中断信号が受信されました。
- *フレームエラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「フレーム異常!!」

ハードウェアによってフレーム エラーが検出されたとき

*ポート オーバーラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「オーバーラン!!」

ハードウェアから 1 バイトが読み取られる前に、次のバイトが受信されたため、 そのバイトは失われたとき

- *受信バッファ オーバーフローです。・・・・・・・・・「データ異常!!」 受信バッファに空き領域が不足状態のとき

ハードウェアによってパリティ エラーが検出されたとき

- *送信バッファが Full 状態・・・・・・・・・「通信異常・配線エラー!!」
- 1 バイトをキューに入れようとしましたが、送信バッファがいっぱいになりました。
- *DCB エラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「イベント異常!!」

ポートのデバイス コントロール ブロック (DCB) で予期しないエラーが発生しました。

*印のエラーなどはプログラムの継続は出来ません。一度プログラムを終了させてください。 プログラムの再起動は配線接続を確認して行いください。

ほとんどの通信エラーはプログラムの再起動が必要です。

その他 PLC に対しプログラムが起動中であることを宣言しておりますが、エラーにより 通信できないときは PLC 側に起動宣言信号が発生できません。(PC 側フリーズ状態)

Version6.0.0.23

KV-3000 用 Com Speed 変更可能にバージョンアップいたしました。

製品の改善のため告知をせずにバージョンアップすることがありますのでご了承ください。

記 2009/1/21 for KEYENCE 2009 version6.0.0.23